

日時 2015年12月20日（日）13：30～17：30
会場 東京慈恵会医科大学・大学1号館・3階講堂

入場
無料

市民公開シンポジウム

医師と共に考える 「いのちの授業」

基調講演：金森俊朗（北陸学院大学）

「涙と笑いのハッピークラス 四年一組命の授業」など

講演：豊島勝昭（神奈川こども医療センター）
小澤竹俊（めぐみ在宅クリニック）
吉岡秀人（ジャパンハート代表）
中西敏雄（東京女子医科大学）

パネルディスカッション

司会：南沢 享（東京慈恵会医科大学）、金森俊朗

パネリスト：青木 清（上智大学）

伊勢真一（映画監督）

中川健朗（内閣府大臣官房審議官）

その他、上記講演者

お問い合わせ

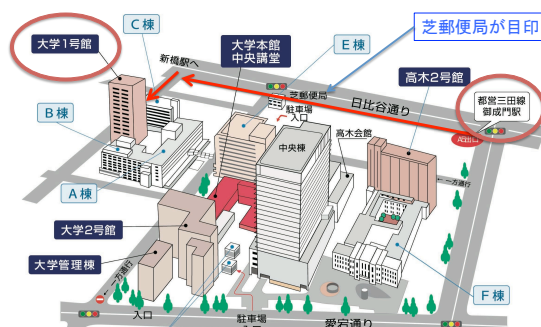
公益財団法人 生存科学研究所

Email : info@seizon.or.jp

東京慈恵会医科大学細胞生理学講座

Email : miya38ab@jikei.ac.jp

TEL: 03-3433-1111 内線2221



会場のご案内：東京都港区西新橋3-25-8
東京慈恵会医科大学・大学1号館3階講堂

医師と共に考える「いのちの授業」 市民公開シンポジウム

【日程】 2015年12月20日（日）午後1時30分～午後5時30分

【会場】 東京慈恵会医科大学・大学1号館・3階講堂

【開催にあたり】

「いのちの授業」という取り組みが全国的に展開されており、その内容は多岐にわたります。「いのちの授業」から子ども達は何を学んでいるのでしょうか？ 生命と向き合う医師の立場から「いのち」を子ども達に教えることには、何か特別な意義があるのでしょうか？ 「いのちの授業」の取り組みの効果については十分に検証されているのでしょうか？

今回、公益財団法人生存科学研究所と東京慈恵会医科大学アウトリーチ活動推進委員会によって、医師が伝える「いのちの授業」について、その意義と課題について考えるための市民公開シンポジウムを開催することにいたしました。本シンポジウムでは、医師以外にも「いのちの授業」や「いのち」を伝えることに関わってこられた教師、映画監督、病児の家族の方々にも参加して頂き、「いのち」を子ども達に伝えることの意味を改めて皆さまと共に考えたいと思います。本シンポジウムを通じて、医師・医療関係者が子ども達に「いのち」を教える取り組みをさらに発展させてゆくための討議の場となることを期待します。

【プログラム】（敬称略）

13:30 ～ 13:35 開会挨拶 松藤千弥 東京慈恵会医科大学学長

13:35 ～ 14:20 基調講演：金森俊朗 北陸学院大学人間総合学部幼児児童教育学科教授
（小学校教諭としていのちの授業に関わってきた立場から）

14:20 ～ 14:40 講演1：豊島勝昭 神奈川こども医療センター新生児科（新生児医の立場から）

14:40 ～ 15:00 講演2：小澤竹俊 めぐみ在宅クリニック（ターミナルケアの立場から）

15:00 ～ 15:20 講演3：吉岡秀人 ジャパンハート代表（小児外科医、発展途上国支援の立場から）

15:20 ～ 15:40 講演4：中西敏雄 東京女子医科大学小児循環器科
（小児科医、臓器移植の立場から）

15:40 ～ 15:55 休憩

15:55 ～ 17:25 パネルディスカッション＋質疑応答

モデレーター：南沢享 東京慈恵会医科大学 + 金森俊朗 北陸学院大学

パネリスト：上記、講演者に加えて、

青木 清 上智大学名誉教授・人間総合科学大学名誉教授（生命倫理の立場から）

伊勢真一 映画監督（「いのち」を映像化する立場から）

中川健朗 内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）（故・太郎君の家族の立場から）

17:25 ～ 17:30 閉会挨拶 南沢享 東京慈恵会医科大学

【主催】

主催：公益財団法人 生存科学研究所、共催：東京慈恵会医科大学アウトリーチ活動推進委員会